

DVDナビゲーション・ETC内蔵
DVD/CD AVシステム

AVN3303D

取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

本書の画面と実際の画面は、異なることがあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



知っておくと便利なこと

知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

はじめに

本書の見方	6
特長	8
ご使用になる前に	9
ディスクについて	10
MDについて	12
液晶パネルについて	13
TVについて	13

基本操作

モードの切り替え方	14
モードを切り替える	14
操作画面の表示	14
各モードの操作画面	15
音の調整	16
主音量の調整	16
画面動作・効果音の設定	16
音質の調整	17
小音量時の低・高音調整	17
BEEP音の設定	17
音質調整画面の表示	18
SOUND調整画面を表示する ...	18
低音・高音を調整する	19
音量バランスを設定する	19
背景画の設定	20
壁紙の設定	20
壁紙を切り替える	20
画面の調整・設定	21
画質調整画面の表示	21
ライト点灯時に昼画表示に するには	22
画面を消すときは	22

ボタンを消すときは	23
画質の調整	23
優先画面の設定	24
画面モード切り替え	25

ラジオの操作

ラジオの使い方	26
ラジオを聞く	26
聞きたい放送局を選ぶ	26
手動で選ぶ	26
自動で選ぶ	26
プリセットスイッチから選ぶ ...	26
放送局を記憶する	27
マニュアル（手動）で 記憶する	27
AUTO.P（自動）で記憶する ...	27
AUTO.Pで記憶した放送局を 変更する ...	27
エリアスイッチについて	28
交通情報を受信する	28
周波数を記憶させる	28
局名スイッチについて	29
ラジオを止める	29

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	30
CDを聞く	30
聞きたい曲を選ぶ	30
早送り・早戻しする	31
聞きたい曲を探す	31
同じ曲を繰り返して聞く	31
曲の順番をランダムに聞く	31
CDを止める	31

CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの使い方	32
CDを聞く	32
聞きたい曲を選ぶ	32
早送り・早戻しする	32
聞きたいCDを選ぶ	32
チェンジャー内の全CDから	
聞きたい曲やCDを探す	32
聞きたい曲を探す	32
聞きたいCDを探す	32
聞きたい曲や同じCDを	
繰り返し聞く	33
いま聞いている曲を	
繰り返し再生する	33
いま聞いているCDを	
繰り返し再生する	33
曲の順番をランダムに聞く	33
いま聞いているCDの中から	
ランダムに聞く	33
チェンジャー内全CDの中から	
ランダムに聞く	33
CDを止める	33

MDチェンジャーの操作

MDチェンジャーの使い方	34
MDを聞く	34
聞きたい曲を選ぶ	34
早送り・早戻しする	34
聞きたいMDを選ぶ	35
チェンジャー内の全MDから	
聞きたい曲やMDを探す	35
聞きたい曲を探す	35
聞きたいMDを探す	35
聞きたい曲や同じMDを	
繰り返し聞く	35
いま聞いている曲を	
繰り返し再生する	35
いま聞いているMDを	
繰り返し再生する	35
曲の順番をランダムに聞く	36
いま聞いているMDの中から	
ランダムに聞く	36
チェンジャー内全MDの中から	
ランダムに聞く	36
MDのタイトルや曲名などを	
表示する	36
MDを止める	36

TVの操作

TVをご覧になる前に	38
TVを見る	38
見たいチャンネルを選ぶ	39
手動で選ぶ	39
自動で選ぶ	39
プリセットスイッチから選ぶ	39
チャンネルを記憶する	39
マニュアル（手動）で 記憶する	39
AUTO.P（自動）で記憶する	39
AUTO.Pで記憶した チャンネルを変更する	39
TV設定画面の切り替え	41
エリアスイッチについて	41
局名スイッチについて	42
音声多重放送を切り替える	42
TVモードを終わる	43

VTRの操作

VTRの使い方	44
VTRを見る	44
VTRモードを終わる	44

ご参考に

知っておいて いただきたいこと	46
こんなメッセージが 表示されたときは	46
故障とお考えになる前に	47
用語説明	49
目的別索引	50
画面・音の調整について	50
オーディオ関係	51
ラジオの使い方について	51
CD・CDチェンジャーの 使い方について	51
MDチェンジャーの 使い方について	52
TVについて	53
TVの使い方について	53
VTRについて	53
その他	53
わからなくてお困りのとき	53
索引	54
五十音順	54
アルファベット / 数字	55

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索して
お使いください。



本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

●本操作

●音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。
本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

●音質調整画面の表示

SOUND調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR設定画面で**SOUND**にタッチします。
- SOUND調整画面が表示されます。
- SOUND調整画面から次ページの操作を行うことができます。



ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。
- TV、VTRモードのときは、操作画面（38,44ページ）から**設定**にタッチすると**SOUND**が表示されます。

低音・高音を調整する

BASSは低音の調整、TREは高音の調整ができます。

- 1 BASS (TRE) の **▲** または **▼** にタッチします。

- 設定終了後は **戻る** にタッチしてください。設定された音質は記憶され、直前の操作画面に戻ります。



音量バランスを設定する

スピーカーの音量バランスを前後および左右に移動できます。

- 1 画面中央の車内図にタッチします。

- 微調整をするときは画面右側の十字キーで行ってください。 **▲**、**▼** にタッチすると前後に、**◀**、**▶** にタッチすると左右に調整ができます。
CENT にタッチすると、音量バランスが中央に設定されます。
- 設定終了後は **戻る** にタッチしてください。設定された音質は記憶され、直前の操作画面に戻ります。



基本操作

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

詳細操作タイトル

詳細操作目的ごとにタイトルがつけられています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。



ワンポイント

- タッチし続けると連続的に変化しますが、いったんセンター値で停止します。さらに動かしたいときは再びタッチしてください。
- 十字キーで操作した場合、タッチし続けると連続的に変化しますが、いったんセンター部で停止します。さらに動かしたいときは再びタッチしてください。

➡ 次ページに続く

19

➡ 次ページに続く

操作手順が次ページに続く場合を表します。

特長

システムアップ

- CDチェンジャー・MDチェンジャー
複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。



- VTR

市販のVTR機器と接続すると、ビデオをご覧になることができます。



音質の調整や音量バランスが設定できるSOUND機能

お聞きになる音楽の低音・高音の調整や、スピーカー音量のバランスを前後および左右に移動できます。



TV・ビデオ(オプション)画面の明るさや色などをお好みで調整

TV・ビデオ(オプション)画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さなどお好みに合わせて画質が調整できます。



壁紙(画面の背景)をお好みに合わせて切り替え、表示

インフォメーション画面やオーディオ操作画面の壁紙(背景)をお好みに合わせて切り替えて表示できます。
ナビゲーションの画面も連動して切り替わります。

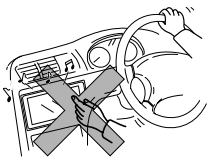


- 情報画面、オーディオ操作画面の壁紙設定

ご使用になる前に

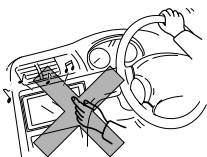


走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



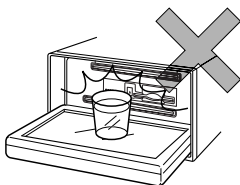
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



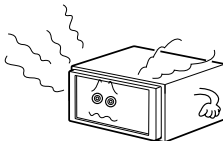
交通事故の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



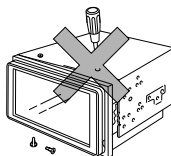
故障の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



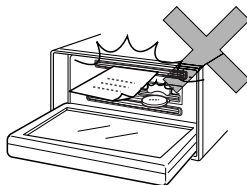
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



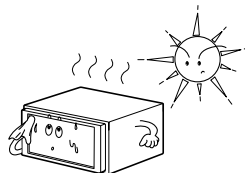
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。



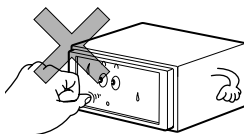
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げからお使いください。



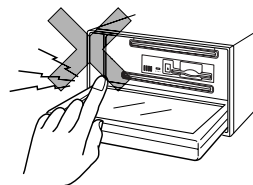
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。

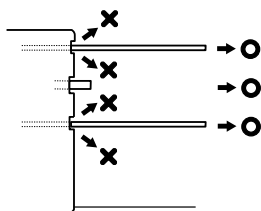


故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスク（ETCカード）を取り出すときは、水平方向に引き出してください。

上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらか引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、破損するおそれがあります。

ご使用になる前に

ディスクについて



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
- 下記のマークの付いたコピーコントロールCD、またはレーベルゲートCDは再生できない場合があります。詳しくはコピーコントロールCDの説明書を参照してください。

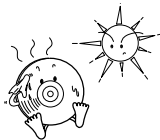


- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- MP3ファイルの再生はできません。
- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



CD・DVDの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



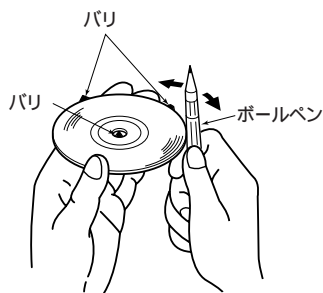
- 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。





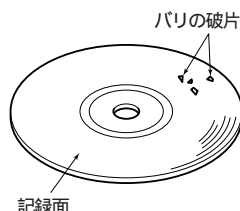
新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



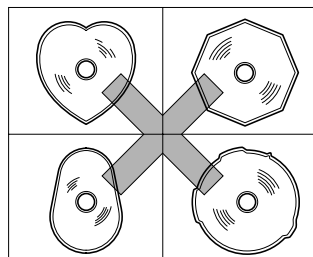
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



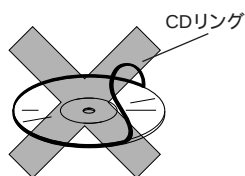
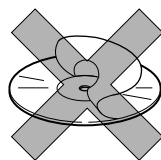
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。
- 市販のレンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。



ディスクのアクセサリーについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ご使用になる前に

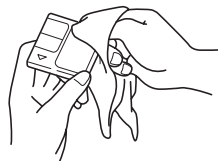
MDについて



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生じることがあります（結露現象）。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくのあいだ、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店に相談してください。

MDの取り扱いについて

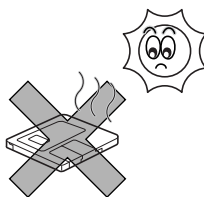
- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



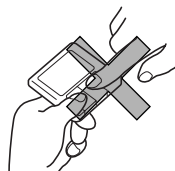
- ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。MDがそり、使用できなくなります。



- シャッターを手で開けたり、記録面に触れないように持ってください。MDが汚れ、音とびをすることがあります。



液晶パネルについて



- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

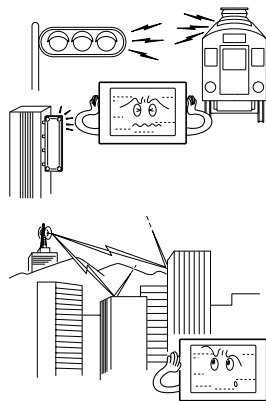
TVについて



- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。

車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入っている場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入っている場合があります。
- トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。



モードの切り替え方

エンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できます。

- 本機はリモコン対応になっています。別売の10キーリモコンを販売店でお買い求めください。操作方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

なお、以下の機能についてはリモコンで操作できません。

- ・ モニターの開閉 / 調整
- ・ CDの収納と取り出し
- ・ サウンドの調整 / 画質の調整画面の呼び出し（それぞれの調整操作は、ポインタで操作できます）

モードを切り替える

- 1 **SOURCE** を押して、各オーディオモードのタッチスイッチをタッチすると、オーディオのモードが切り替わります。

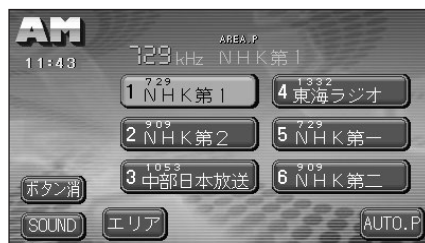
- **SOURCE** を押す前にナビゲーションの画面を表示していた場合は、選んだモードがオンスクリーン表示されます。



- オンスクリーン画面表示

操作画面の表示

- 1 **CONT** を押します。



各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●TV操作画面



●CDチェンジャー操作画面(オプション)



●MDチェンジャー操作画面(オプション)



TV、ビデオ（VTR）の操作画面で6秒以上操作をしなかった場合は、操作画面の表示が自動解除されます。

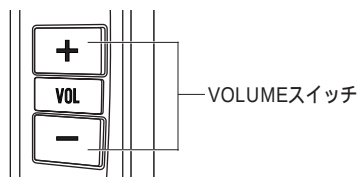
音の調整

主音量の調整

- 1 VOLUMEスイッチを押します。

+ を押すと、音量が大きくなり、
 - を押すと、音量が小さくなります。

- 1回押すと2ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が変わり続けます。



画面動作・効果音の設定

現在地画面から **目的地**、**MENU** または、目的地設定画面やメニュー画面から現在地画面へ表示を切り替えるときに画面がスライドするような表示となり、流れるような音が鳴ります。

- 1 **INFO** を押して、インフォメーション画面を表示します。

- 2 **設定** にタッチします。



- 3 画面動作・効果音の **ON**、または **OFF** にタッチします。



- タッチしたタッチスイッチが緑色になります。
- **OFF** にタッチすると、通常の画面動作・操作音になります。

- 4 **設定完了** にタッチします。

音質の調整

小音量時の低・高音調整

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 インフォメーション画面で、**設定** にタッチします。

2 オートLOUDの **ON** または **OFF** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

3 **設定完了** にタッチします。



BEEP音の設定

パネルスイッチやタッチスイッチを押したときの音を鳴らすか鳴らさないかの設定ができます。

1 インフォメーション画面で、**設定** にタッチします。

2 BEEPの **ON**、または **OFF** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが緑色になります。
- **OFF** にタッチすると、操作音が解除（消音）になります。

3 **設定完了** にタッチします。

音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

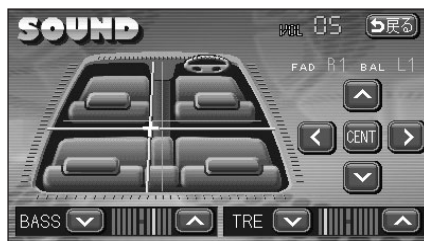
本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

SOUND調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR設定画面で **SOUND** にタッチします。

- SOUND調整画面が表示されます。
- SOUND調整画面から次ページの操作を行うことができます。



- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。
- TV、VTRモードのときは、操作画面（38,44ページ）から **設定** にタッチすると **SOUND** が表示されます。

低音・高音を調整する

BASSは低音の調整、TREは高音の調整ができます。

- 1 BASS (TRE) の **■** または **■** にタッチします。

- 設定終了後は **戻る** にタッチしてください。設定された音質は記憶され、直前の操作画面に戻ります。



音量バランスを設定する

スピーカーの音量バランスを前後および左右に移動できます。

- 1 画面中央の車内図にタッチします。

- 微調整をするときは画面右側の十字キーで行ってください。 **■**、 **■** にタッチすると前後に、 **<**、 **>** にタッチすると左右に調整ができます。
 CENT にタッチすると、音量バランスが中央に設定されます。
- 設定終了後は **戻る** にタッチしてください。設定された音質は記憶され、直前の操作画面に戻ります。



- タッチし続けると連続的に変化しますが、いったんセンター値で停止します。さらに動かしたいときは再びタッチしてください。
- 十字キーで操作した場合、タッチし続けると連続的に変化しますが、いったんセンター部で停止します。さらに動かしたいときは再びタッチしてください。

背景画の設定

オーディオ操作画面やインフォメーション画面の背景画をお好みの壁紙に切り替えることができます。

壁紙の設定

壁紙を切り替える

1 **INFO** を押して、インフォメーション画面を表示します。

2 **設定** にタッチします。



3 壁紙の **1**、**2**、**3** のいずれかにタッチします。



- タッチしたタッチスイッチが緑色になり、壁紙（背景画）が切り替わります。

4 **設定完了** にタッチします。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV・VTR（オプション）などの画質を調整したり、インフォメーション画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

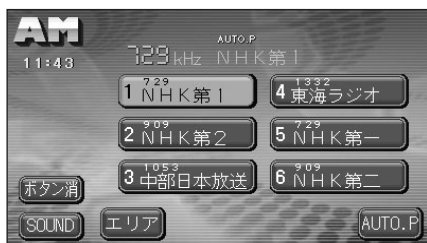
画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV・VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

- （初期状態）●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞
●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

<オーディオ操作画面>



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

<TV・VTR画面>



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV・VTR画面で **画質** を押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

●約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面に戻ります。



●オーディオ操作画面時



●TV・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示するには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

●再度、画面を表示させるには、**CONT** または **NAVI** を押します。

ボタンを消すときは

画面に表示されているボタン類を消すことができます。

1 **ボタン消** にタッチします。

- 画面をタッチするとボタンが表示されます。



- CD操作画面時（ボタン消状態）

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



- オーディオ操作画面、ナビ画面時

■ コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■ 明るさ

1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。



- TV・VTR画面時

■ 色合い (TV・VTR画面時のみ)

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■ 色の濃さ (TV・VTR画面時のみ)

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

インフォメーション画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（もとの画面に戻る）」、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 **自動解除** または **継続表示** にタッチします。

- インフォメーション画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。

2 **設定完了** にタッチします。



画面モード切り替え

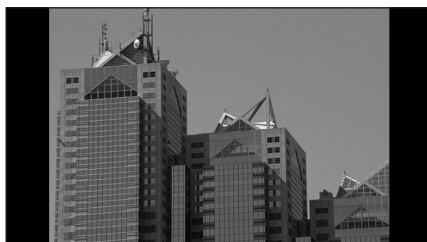
1 TV、VTR操作画面で **設定** にタッチします。

2 **ワイドモード** にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または**ワイド3** にタッチします。

●ワイドモードを選択します。



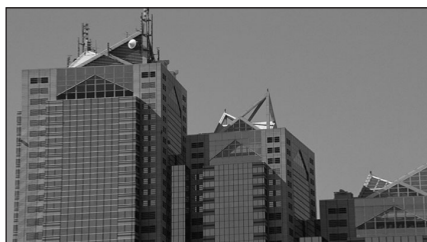
■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



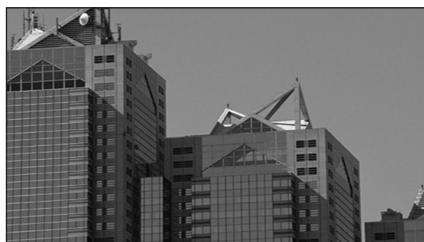
■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等（画面の中心を除く）に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどをを行うと、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 AMは **AM** に、FMは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 、または を押します。

- 押すごとに1ステップずつUP/DOWNします。(1ステップはAM 9kHz、FM 0.1MHzです) (上側)：周波数UP(高く)、 (下側)：周波数DOWN(低く)

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「放送局を記憶する」(次ページ)を参照してください。

自動で選ぶ

1 、または を“ピッ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



受信電波の弱い地域では、自動選局することができないことがあります。

放送局を記憶する

放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“ AUTO.P ”、または“ AREA.P ”が画面の上部に表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P**、または **エリア** をタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ ピーッ ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ ピーッ ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ ピーッ ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、 **AUTO.P** にタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たにチャンネルが記憶されます。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

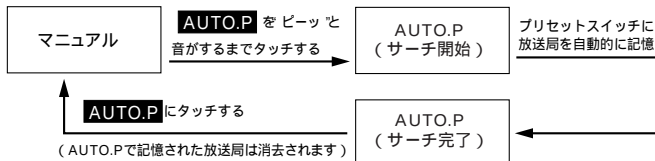
1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ ピーッ ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

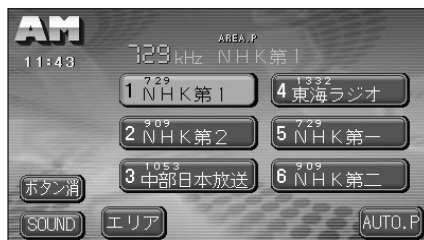
ラジオの使い方

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面に戻ります。



交通情報を受信する

1 [●●●●] を押します。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します



周波数を記憶させる

1 AM にタッチします。

2 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 [●●●●] を “ピピッ” と音がするまで押します。



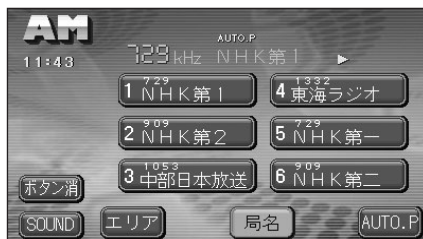
- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 交通情報局の受信周波数は変更できません。
- バッテリーなどを交換したときは1620kHzに戻ります。

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

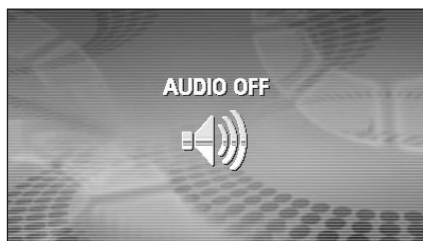


ラジオ

ラジオを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が再受信されます。



CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと再生を始めます。

- 1 **CD**が差し込まれてるときに **SOURCE** を押します。

- 2 **CD** にタッチします。

- 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 、または を押します。

- (上側) : 次曲を選ぶとき、
 (下側) : 前曲を選ぶとき
 聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは を押し、前にあるときは を押します。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。



ワンポイント

- CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字まで表示できます。
 CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。
- 同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

CDの構造例

— CD-DA (音楽データ)	第1セッション	再生可
— CD-DA (音楽データ)	第2セッション	再生不可
— MP3	第3セッション	再生不可
— MP3	第4セッション	再生不可

第1セッションに書き込まれたCD-DA (音楽データ) のみ再生できます。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、を“ピッ”と音がするまで押す方法、または、にタッチし続ける方法があります。

- （上側）：曲を進めるとき、

（下側）：曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。
希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 **RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと再生が再開されます。

CDチェンジャーの使い方

オプションのCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

- 1 **SOURCE** を押します。

2 CDチェンジャー1台を接続している場合は**CDCH1**に、CDチェンジャー2台を接続している場合は**CDCH1** または **CDCH2** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」(30ページ)を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」(30ページ)を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 CDのディスク切り替えスイッチをタッチします。

●選択されたCDの番号が反転します。

チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(30ページ)を参照してください。

聞きたいCDを探す

- 1 **DISC SCAN** にタッチします。

●CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度**DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。



- ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- CDチェンジャーにDISCが入っていない場合は、動作しません。
- CDチェンジャーが接続されているときは、**CDCH1** **CDCH2** でオプションのCDチェンジャーデッキおよびCDチェンジャーを切り替えることができます。

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(30ページ)を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(30ページ)を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと再生が再開されます。

MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 MDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **MDch** にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 、または を押します。

- (上側) : 次曲を選ぶとき、
 (下側) : 前曲を選ぶとき
- 聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは を押し、前にあるときは を押します。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押す方法、または 、 にタッチし続ける方法があります。

- (上側) : 曲を進めるとき、
 (下側) : 曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



- MDにタイトルや曲名などが記録されているとき表示することができます。また、表示文字数はアルファベットの半角文字では最大32文字まで表示できます。
- DISC切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したDISC番号のみ選択することができます。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

- 1 聞きたいMDのDISC切り替えスイッチをタッチします。

- 選択されたMDの番号が選択色になります。

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

- 1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

- 1 **DISC SCAN** にタッチします。

- MDチェンジャー内全MDの1曲目の始めの部分を10秒間だけ順に再生します。再度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

- 1 **RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

- 1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

MDチェンジャーの使い方

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとDISC切り替えスイッチが表示が切り替わります。

MDを止める

1 **PWR** を押します。

- 再度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MEMO



TVをご覧になる前に

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。)



TVを見る

1 **SOURCE** を押します。

2 **TV** にタッチします。

- TV画面になります。
- **CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。



- TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- TV画面を表示中に画面をタッチしても、TV操作画面が表示されます。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 、を押す、または、にタッチします。

- 押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

  (上側) :

チャンネルUP (大きくなる)

  (下側) :

チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

- 1 、を“ピッ”と音がするまで押す、または、に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル(手動)で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面上部に表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは**AUTO.P**または**エリア**(41ページ参照)にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P(自動)で記憶する

- 1 **AUTO.P**を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、**AUTO.P**にタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たにチャンネルが記憶されます。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

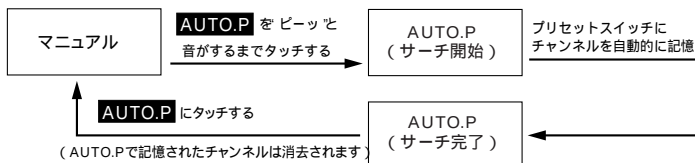
- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

TVをご覧になる前に

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。(このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。) AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- エリアプリセット
- 音声多重放送の切り替え
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- 音質・音量バランスの調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面に戻ります。

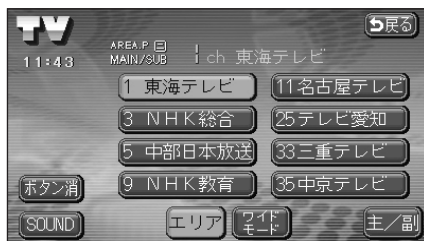


エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

- “ AREA.P ” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面に戻ります。



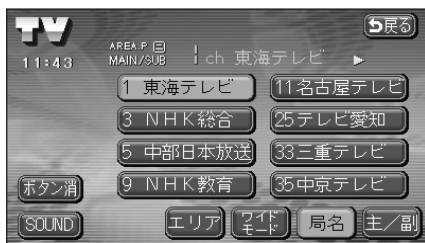
TVをご覧になる前に

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

- 1 **局名** にタッチします。

- 放送局名を選択します。

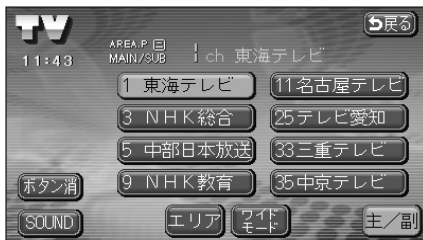


音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

- 1 **主/副** をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB



- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

TVモードを終わる

1 **PWR** を押します。

- もう一度押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）の音声のみが再受信されます。
- **SOURCE** を押して、**TV** にタッチすると、受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。



ワンポイント

- 2ヶ国語放送を受信したときは、が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。)



VTRを見る

- 1 **SOURCE** を押します。
 - 2 **VTR** にタッチします。
- VTR画面になります。
 - **CONT** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTRモードを終わる

- 1 **PWR** を押します。
- もう一度押すと再生が再開されます。
 - **SOURCE** を押して、**VTR** にタッチすると、電源を切る前の映像が再生されます。



- VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。**CONT** を押すと再度、表示します。
- VTRを表示中に画面をタッチしても、VTR操作画面が表示されます。

MEMO



知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD・MD検索中です	CD・MDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CD・MDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CD・MDのふたが開いています	CD・MDチェンジャーの扉が開いているため。	CD・MDチェンジャーの扉を閉めてください。
CD・MDをお確かめください	CD・MDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
CD・MDが入っていません	CDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーにディスクが入ってないため。	音楽ディスクを入れてください。
異常検知でCD・MD停止中です 1	なんらかの原因でCDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温のためでCD・MD停止中です 2	CDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
CD・MDマガジンが入っていません	CD・MDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
○枚目のCD・MDをお確かめ下さい	CD・MDチェンジャーの○○枚目のCD・MDが読めません。	音楽CD・MDが正しく入っているかご確認してください。
○○CDが入っていません	CDチェンジャーにディスクが入っていません。	音楽CDが正しく入っているかご確認してください。

- 1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。
- 2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表に基づき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
音が出ない。	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CDが入らない。	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCDをイジェクトしてから、お好みのCDを入れてください。
CD・MDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（10～12ページ参照）
	CD・MDに大きなキズやソリがある。	他のCD・MDを入れてください。
	CD・MDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（10～12ページ参照）
	CD・MDが裏返しになっている。	CD・MDを正しい向きで挿入してください。（10～12ページ参照）
	対応していないCD・MDが挿入されている。	対応しているCD・MDを挿入してください。（10～12ページ参照）
画面に CDCH1 、 CDCH2 、 MDCH が表示されない。	CD・MDチェンジャーの接続が不完全。	CD・MDチェンジャーとの接続を確認してください。
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンで画面を消したとき。	CONT または NAVI を押してください。（22ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない。（停車中）	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。
映像も音も出ない。	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。

知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
TVの映像または音が出ない。	VTR入力になっている。	SOURCE を押してから、 TV にタッチしてください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

用語説明

CD-R (Compact Disk Recordable)	データを一度だけ書き込めるCDのことです。いったん書き込まれたデータは消去できません。容量は通常のCDと同じ650MB（音楽74分相当）のものと、700MB（音楽80分相当）の2種類があります。
CD-DA (Compact Disk Digital Audio)	音楽データの記録・再生のための規格です。1トラックに1曲書き込まれ、CDには最大74分まで収めることができます。
CD-RW (Compact Disk ReWritable)	相変化記録方式を採用し、任意のデータを何度でも書き込んだり消去したりできるCDのことです。容量は700MB（音楽80分相当）です。
コピーコントロールCD	パソコンなどでのコピーやリッピング（コンパクトディスクに記録されている音声を、パソコン上にデータとして取り出したり、ファイル化すること）ができないようにコントロール（制御）しているCDです。
UDF (Universal Disk Format)	OSに依存しない光ディスク用のフォーマットの一つです。DVDやCD-RWなどに採用されているフォーマットです。
音声多重	テレビの音声はもともとモノラル（単一）でしたが、周波数の隙間を利用することで音声を多重化し、別の音声を送れるようになりました。音声多重としてはステレオ放送が一般的に利用されていますが、日本語・英語などの2音声で利用されることもあります。
トラック	音楽CDでは曲の1区切りをトラックといいます。

目的別索引

画面・音の調整について

< 画面の調整に関して >

■ オーディオ操作画面やTV・VTRの画面を見やすくしたい

「画面の調整・設定」.....P21

■ 操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

「優先画面の設定」.....P24

■ 画面を消したい

「画面を消すときは」.....P22

■ ボタンを消したい

「ボタンを消すときは」.....P23

■ 壁紙を切り替えたい

「壁紙を切り替える」.....P20

■ 画面をワイドモードにしたい

「画面モード切り替え」.....P25

< 音の調整に関して >

■ 音量をかえたい

「主音量の調整」.....P16

■ スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

「BEEP音の設定」.....P17

■ 音質をかえたい

● 音量を調整したい

「主音量の調整」.....P16

● 高音と低音を調整したい

「低音・高音を調整する」.....P19

● スピーカーの音量バランスをかえたい

「音量バランスを設定する」.....P19

オーディオ関係

ラジオの使い方について

■ ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」 P26

■ 放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」 P26

■ 放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」 P27

■ 今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」 P28

■ 交通情報を聞きたい

「交通情報を受信する」 P28

■ 重複した放送局名を切り替えたい

「局名スイッチについて」 P29

CD・CDチェンジャーの使い方について

■ CDを聞きたい

「CDを聞く」 P32

■ 聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」 P32

「聞きたいCDを選ぶ」 P32

■ 聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」 P32

「チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す」 P32

■ いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聴いて聞く」 P31

「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聴いて聞く」 P33

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」 P33

■ 早送りや早戻しがしたい

「早送り・早戻しする」 P32

目的別索引

MDチェンジャーの使い方について

■ MDを聞きたい

「MDを聞く」 P34

■ 聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」 P34

「聞きたいMDを選ぶ」 P35

■ 聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」 P35

「チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す」 P35

■ いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」 P35

「聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く」 P35

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」 P36

■ 早送りや早戻しがしたい

「早送り・早戻しする」 P34

TVについて

TVの使い方について

■ TVを見たい

「TVを見る」P38

■ 放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」P39

■ 放送局を記憶させたい

「チャンネルを記憶する」P39

■ TVの設定画面に表示を切り替えたい

「TV設定画面の切り替え」P41

■ 今、いるエリアの放送局を知りたい

「エリアスイッチについて」P41

■ 今、聞いている音声を切り替えたい

「音声多重放送を切り替える」P42

VTRについて

■ VTRを使いたい

「VTRの使い方」P44

その他

わからなくてお困りのとき

■ 画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」P46

■ 故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」P47

索引

五十音順

ア

明るさ（画質調整）	23
色合い（画質調整）	23
色の濃さ（画質調整）	23
エリアスイッチ	28,41
音の調整	17
音声多重放送	42
音量バランス	19

カ

画面動作・効果音の設定	16
画面を消す	22
局名スイッチ	29,42
交通情報	28
コピーコントロールCD	10
コントラスト（画質調整）	23

サ

主音量の調整	16
--------------	----

タ

低音・高音の調整	19
----------------	----

ハ

背景画（壁紙）	20
標準画モード（画面モード）	25
昼画面	21
放送局を記憶する	27,39
ボタンを消す	23

ヤ

優先画面	24
夜画面	21

ラ

ラジオの使い方	26
---------------	----

ワ

ワイド1画モード（画面モード）	25
ワイド2画モード（画面モード）	25
ワイド3画モード（画面モード）	25

アルファベット/数字

A

AREA.P	27
AUTO.P	27,40

B

BASS (TRE)	19
BEEP音の設定	17

C

CD-R (CD-Recordable)	10
CD-RW (CD-ReWritable)	10
CDチェンジャーの使い方	32
CDプレーヤーの使い方	30

D

DISC SCAN	32,35
DISK RAND	33,36
DISK RPT	33,35

M

MDチェンジャーの使い方	34
--------------------	----

R

RAND	31,36
RPT	31,35

S

SCAN	31,35
SOUND調整画面	18

T

TRE (BASS)	19
TV設定画面	41
TVを見る	38

V

VOLUMEスイッチ	16
VTRの使い方	44

MEMO

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸(078)671-5081



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社 2003

090002-26480700
0308K (N)